



あざぬまありとも  
**浅沼有朋** 議員



飼料の地産地消

農業政策

所得向上と競争力強化を

生産拡大の支援を今後も検討する

**問** 令和5年度の異常気象や資材などの高騰による農業経営への影響をどのように捉え、支援対策に取り組んだのか。

**町長** 天候不順のみならず、社会情勢の変化などにより安定した農業経営が行えない状況になりつつある。緊急病害虫防除および生育回復対策、畜産経営継続支援給付金、農業水利施設管理電力価格緊急対策事業補助金な

どの支援を行った。これからも適切な支援を続ける。

**問** 農業所得向上への取り組み状況と、競争力のある農業の確立に向けた対策は。

**町長** 労働生産性を上げるために、農地の集積、集約化が必要であり、地域計画の話合いを深めていく。また、子実トウモロコシの普及に向けて、農家や各団体が連携し「飼

料の地産地消」ができる仕組みを進めた。今後も生産拡大のための支援などを検討する。

**問** 担い手・後継者の確保と新規就農についてこれまでの成果と今後の取り組みは。

**町長** 町独自の親元就農支援補助金や新規就農事業として交付金を活用している。就農タイプ別に今後も担い手確保プロジェクトとして取り組む。

整備を迅速に進めよ

財源を確保し計画的に行う

請願道路

**問** 請願採択道路のこれまでの工事状況と、今後の実施計画をどのように進めるのか。

**町長** 昭和59年度以降167件が採択され、307路線となってお

り、うち89件、158路線が整備済みである。今後も路線の利用状況などから優先順位を定め、計画的な整備実施に努める。

**問** 採択路線の整備は、維持管理とのバランスが重要。予算配分の考え方は。

**町長** 主な財源である国の交付金や補助金は、橋梁点検や補修費に重点が置かれてきて

いる。町の予算も有利に進められる補助事業などに合わせ予算を配分している。

**問** ふるさと納税や命名権の販売など、



早く整備してほしい

あらゆる制度を活用して整備を実現すべきでは。

**町長** 利用可能な事業は、積極的に活用している。ふるさと納税は寄付者の希望で配分が可能。命名権の販売は町有道路施設で有効な箇所があれば検討する。

**問** 土木費が年々減少している。一定割合の財源を確保して整備を実施すべきでは。

**町長** 一定枠の財源確保は町の課題と捉えている。今後もあらゆる手立てで財源を確保していく。





さとうみつお  
佐藤光夫 議員

学校教育費

# 教材を見直し費用の負担軽減を

**答** 本当に必要なものを購入するよう指示している



高いよねえ～

**問** 義務教育での教材費は多額の支出となる。家庭の経済事情に左右されることなく、教育を受けられるよう、町独自の学校教育費の見直しはできないか。

**教育長** 義務教育において無償化なのは授業料と教科書のみで、学校給食費・学用品・修学旅行費などは受益者負担が基本である。経済的理由によって就学困難の場合は、就学支援制度により学用品・校外活動費・クラブ活動費を支援している。

**問** 教材などの中で必要なものか、省けるかを見直しすべきでは。

**教育長** 補助資料などは、本当に必要なものを購入するよう学校長に指示している。

**教育長** 補助資料などは、本当に必要なものを購入するよう学校長に指示している。

**問** ランドセルを町が主導して、推奨製品と指定することで口ツドがまとまり単価が安くできる可能性がある。あつせん販売するのはどうか。

**町長** 保護者などからいろいろな意見があると思うが、校長会で話題にすることは可能である。

## 給食時間

# 食育として時間を確保せよ

**答** 適切な時間は確保している

**問** 給食時間は配膳時間を含み小学校は45分・中学校は30分となっている。時間が短いとの声があるが、健康的で有意義な給食時間を確保できないか。

**教育長** 小学校1年生は給食の準備時間を多めに取り、食事の時間を確保している。中学生は準備や後片付け共に短時間で行えることから十分に食事の時間が確保されている。

**問** 声は届いていないとのことだが、午前中の授業時間が長くなり給食時間が15分だったことがあると聞く。児童生徒にアンケートを取れないか。

**教育長** 機会を見て、アンケートなど検討していく。

**問** 十分な給食時間が確保できれば、よく噛んで味わって食事ができて、校内放送に

**教育長** 健康志向を基にしながら万全な体制で検証していきたい。

耳を傾け、有意義な時間となる。先日、福岡で給食のうずらの卵を喉に詰まらせた事故があった。そのような事故が起きないように、ゆとりを持った食事時間が大切である。学びながら味わって楽しく健康的な食事をしてほしい。

**学校教育課長** 各学校の校長にそのような声の有無を確認したところ該当はなかった。

**問** 保護者から給食時間が短いと聞くと、児童生徒や保護者の声を把握しているか。

各学校の校長にそのような声の有無を確認したところ該当はなかった。



ゆっくり食べたいな





おいかわ 及川ひとみ 議員

納税相談

制度の周知を徹底すべき

答 制度周知と相談支援に努める

問 物価高騰などで町民の暮らしは厳しくなっている。介護保険料や国民健康保険税を納めることが難しい時に減免や納付猶予があり、活用できるように周知が重要だが取り組みは。

町長 減免や納付猶予制度は、災害を受けた方、生活困窮している方などの納付軽減を行う制度である。納付通知書にチラシを同封

し、納入義務者へ周知している。納入義務者の生活状況の確認が必要なことから、減免制度の周知はもとより、相談体制の充実にも努める。

問 減免の基準に該当するかなどの相談体制は。納税相談の看板を設置できないか。

町長 生活情報の聞き取りが必要のため、納税で困ったら相談に来てほしい。

問 国民健康保険税は、子供が多い世帯ほど負担が重い。子ども均等割の軽減を拡充すべきでは。

町長 現行どおりの運用を継続する。

問 8市町の県央ブロックごみ処理広域化の焼却施設が稼働するまで、プラスチック類の分類収集・資源化を各市町で取り組むことになっているが町の考えを伺う。

町長 令和4年度におけるごみ排出量速報

先進事例を取り入れよ

答 情報収集の上で研究する

ごみ減量



分ければ資源、混ぜればごみ

値では、家庭系ごみの一人一日当たりの排出量は421グラムであり、県内33市町村中2番目に少ない値である。現在、容器包装プラスチックに加え、製品プラスチックについても収集運搬および処理を行うべく検討している。

町長 企業がプラスチックなどの回収を進めており、矢巾町ではコンタクトレンズのケース、食器スポンジなどの分別にも取り組んでいる。使い捨てコンタクトレンズのケースは良質なプラスチックと言われているが、矢巾町では回収ボックスを

問 企業がプラスチックなどの回収を進めており、矢巾町ではコンタクトレンズのケース、食器スポンジなどの分別にも取り組んでいる。使い捨てコンタクトレンズのケースは良質なプラスチックと言われているが、矢巾町では回収ボックスを

問 ごみの分別や企業のリサイクルなどに気付くことが重要。他自治体の先進事例を生かさないか。

町長 気づきは、大事である。今後も、ごみの減量につながることはやっていく。

早めの納税相談を!

病气や失業などやむを得ない事情から、一時的に納めることが難しい場合は、そのままにせず、あらかじめ税務課へご連絡の上、納税相談に来庁してください。

日中に仕事などで都合がつかない場合は、毎週月曜日(月曜日が閉庁日の場合は火曜日)に午後7時まで窓口延長を行っております。

(担当・問合せ) 税務課 納税係  
☎ 672-2111 内線 2280~2284

